

馬詰研究奨励賞海外研修等実施報告書

令和 5 年 6 月 5 日

工 学 研 究 科 長 殿

所 属： 建築学 専攻
課 程： 博士後期課程 3 回生
氏 名： 山田 諒

研修の目的	本研修では、アメリカ合衆国において鉄筋コンクリート造耐震壁の研究を先導する Prof. John Wallace およびその研究室に所属する学生と、耐震壁のせん断挙動について議論を行うことで、新たな着想を得ることを目的とした。		
研修の期間	2023 年 5 月 15 日～2023 年 5 月 28 日		
研修の実施先	日程	滞在地	研修実施機関名等（指導教員名）
	2023/5/15～ 2023/5/28	Los Angeles, CA, U.S.	University of California, Los Angeles (Prof. John Wallace)
研修の概要	本研修では、自身の研究テーマである鉄筋コンクリート造耐震壁に関して、アメリカにおける研究先導者である Prof. John Wallace の研究室を訪問し、その研究室学生を交えて自身の実施してきた耐震壁に関する実験や解析等の検討結果を発表した。また発表内容に関して質疑応答を行い、日本とは異なるアメリカの設計の観点に基づく意見や疑問などを収集した。また、実験設備に関しても見学を行い、今後の実験実施に活かすことができる知見の獲得を試みた。		
研修の成果等	研修中に自身が実施してきた研究について発表を行った。発表は Prof. John Wallace に加え、研究室の学生を交えて行われた。日本とアメリカでは鉄筋コンクリート造の壁部材に関して設計思想が異なるため、その説明に時間を要したが、Prof. Wallace より、非常に興味深い研究内容であるという評価を頂いた。また、耐震壁のモデル化について関連のある研究を行っている学生から意見を貰った。今後、自身の研究に活かすことができるか検討したい。研究とは直接関連しないが、今後、研究者として必要な現地の学生とのコミュニティを築くことができた。		
そ の 他 ※本海外研修経験による将来の抱負等	本海外研修を開始した当初に痛感したのは、自身の英語に関するコミュニケーションスキルの不足であった。また、文化の異なるアメリカにおいて、2 週間と短期間であるが、生活することによって、カルチャーショックを受けた。今後は英語力や積極的なコミュニケーション能力を磨くことで、国際的に活躍できる研究者を目指したい。		